

## 第8回農楽塾 春期講師プロフィール 群馬オペラアカデミー2018

### ■中嶋彰子/ソプラノ（体カトレーニング、表現力）



板倉町/ウィーン在住。

シドニー大学・音楽院卒業。1990年、全豪オペラ・コンクールで優勝。同年、シドニー・オペラハウスとメルボルン・オペラでデビューを飾る。1992年にはサン・カルロ歌劇場にてヨーロッパデビューを果たし、ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約を結んだ。1999年からは、日本での本格的な活動もスタートする。2012年以降はプロデュースや演出にも力を入れ、2014年には、よみうり大手町ホールで開催された「モーツァルトハウス・ウィーン in ジャパン 2014」で総合企画監督を務めた他、2016年には中嶋彰子プロデュースの舞台作「夢幻能-月に憑かれたピエロ」がスイスのシオン国際音楽祭に参加し欧州でも高い評価を得る。

2017年には全国共同制作プロジェクト「蝶々夫人」の主役をレジェンド、笈田ヨシの演出の下、センセーショナルな成果を収めた。第14回「出光音楽賞」受賞。

2017年度よりウィーン私立音楽大学声楽科教授に就任。

群馬オペラアカデミー農楽塾（のうらじゆく）総監督。ぐんま観光特使。

### ■ゲアハルト・カーリー/テノール（曲解釈、技術）



ウィーン国立音大、ならびヴェルディ音楽院にて声楽を学ぶ。師事はティーノ・パッティエリ、宮廷歌手ヒルデ・ザデック、宮廷歌手アントン・デルモータなどである。

1966年より、主役級第一テノールとして、フォルクスオーパー、オーバーハウゼン、ザールブルッケン、ザルツブルク、インスブルックなどでキャリアを積む。その他オラトリオやリート分野も得意とし、オーストリア国内はもちろん、ブラジル、カナダ、アメリカなど国際的な舞台でも活動の場所を広げた。1980年より指導者としてのキャリアを開始し、1986年ウィーン国立音楽大学声楽科主任教授に就任する。1992年よりジュゼッペ・ディ・ステファノ主催ベルカント声楽コースで教えた他、ベテラン・コーチとして世間に知られており、ポーランド、フィンランド、イタリア、韓国、中国などの音楽大学やオペラハウスに招待されている。アルフレード・クラウス国際コンクール、ベルベデーレ国際コンクールなど数多くのコンクールの審査を受け持つ他、フィンランド国立劇場、オーストラリア・オペラの両劇場で所属ソリストたちのコーチも務める。著名な生徒には、バーバラ・ボニー、アンゲリカ・キルヒシュラーガー、ラファエル・フィンガーロスなどがいる。

## ■ マグダレーナ・レンヴァルト/ソプラノ（イタリア語、ドイツ語）



オーストリア・チロル生まれのイタリア出身。

フローレンス大学にてイタリア文学を学ぶ。ローマ、サンタチェチリア音楽院にて声楽科首席終了し、のちにウィーン私立音楽芸術大学にてオペラ科を修了。

2011年ウィーン楽友協会にてのデビュー・リサイタルが高く評価され、バイロイト・リヒャルト・ワーグナー協会より奨学金を受賞する。2016年ナポリ、サンカルロ劇場にてツェムリンスキー作曲オペラ「こびと」でデビューし、翌年は「エレクトラ」で出演。今後も同劇場からのオファーが続いている。その他「蝶々夫人」「ワクキューレ」のジークリンデ役など、ドラマチックな役柄を得意としている。

舞台の他に教育者としても活躍しており、ウィーン国立音大、ウィーン私立音楽芸術大学、ウィーンフィル夏季講習で語学講師を務めている。

## ■ 斉藤雅昭/ピアノ（コレペティ）



ウィーン国立音楽大学大学院ピアノ演奏科歌曲伴奏科を満場一致の首席で修了。

2005年パッサウ市国際声楽コンクール「最優秀伴奏者賞」受賞。在学中よりオーストリアを中心にヨーロッパ各地にて国際ヨハンシュトラウス音楽祭、シューベルティアアーデ等様々な音楽祭に出演。ルーマニアでは国営放送が音楽祭の様子を生中継した。またコレペティトール、音楽助監督としてもオーストリア各地のオペラフェスティバルに参加。

近年では2013年人間国宝渡邊荀之介、中嶋彰子両氏と共に夢幻能&シェーンベルク「月に憑かれたピエロ」に参加。(N.ムース指揮、アンサンブル金沢メンバー)、2016年東京春音楽祭にて再演。同年中嶋彰子、N響メンバーと共にシェーンベルクのキャバレーソングを収録(NHK名曲アルバム)。2017年にはセイジ・オザワ松本フェスティバルにて指揮者なしによるシェーンベルク「月に憑かれたピエロ」を豊嶋泰嗣、宮田大、S.ジャコーらと演奏。